定期報告に該当しない旨の届出書

（繰り返しお尋ねする場合があります。御了承ください。）

令和　　年　　月　　日

千葉県○○土木事務所長　様

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 届出者 | 住　　所 |  |
|  | 氏　　名 |  |
|  | 電話番号 |  |

（法人にあっては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 建築物等名称 |  | 整理番号 |  |

上記建築物の状況について下記のとおり届出します。

（※　該当する番号とカタカナを○で囲む）

記

１　建築物がない

イ　所有又は管理したことがない

ロ　他の通知と重複している（整理番号　　　　　　　　　　　　）

ハ　除却済（平成・令和　　年　　月ごろ）

ニ　工事中止

ホ　未着工（着工予定令和　　　年　　　月ごろ）

ヘ　工事中（完成予定令和　　　年　　　月ごろ）

２　現在は所有又は管理していない

イ　転売先

名　称：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

所在地：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＴＥＬ：（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ロ　所有者等

ハ　管理会社

３　用途・規模が対象外

（建築物概要）

用途：　　　　　　　　　　　構造階数：　　　　　　　　造　　　　階建て

各階床面積：　　階　　　㎡、　　階　　　㎡、　　階　　　㎡

　　　　　　　　階　　　㎡、　　階　　　㎡、　　階　　　㎡

防火設備の有無（防火設備の定期検査のみ対象の場合）：　有　・　無

４　現在使用していない

転売予定・除却予定・改修予定・その他（　　　　）／令和　　年　　月　予定

（※使用状況等について、繰り返しお尋ねする場合があります。御了承ください。）

５　第一回目の報告免除

検査済証交付年月日が平成・令和　　年　　月　　日　　第　　　　　　号

検査済証交付機関名

以上

～定期報告に該当しない旨の届出書の記入方法について～

この届出書は、定期報告を要する特定建築物に“該当しない場合”に提出していただく書類となります。提出にあたっては、以下の内容を参考に、１～５の該当箇所に、記入または○をお願いします。

１　建築物がない

「１」の欄は、「もう建物は無くなっている」、「まだ完成していない」等の場合に記入します。また、「通知のあった建物を所有していたことがない」などの場合も、この欄に記入してください。

２　所有又は管理していない

「２」の欄は、以前は所有又は管理していたが、現在は他の方に権利が移っている場合に記入します。この場合、転売先となった相手方の氏名、連絡先を記入してください。

３　用途・規模が対象外

「３」の欄は、通知された建物が「定期報告を要する特定建築物一覧表」の（１）から（７）の、いずれにも該当していない場合に記入します。この場合、建物の用途（店舗、共同住宅等）、建物の構造・階数、各階の面積を記入してください。

４　現在使用していない

「４」の欄は、“現在はその建物を使用していない”等の場合に記入してください。

なお、使用状況等により、再度定期報告が必要となる事が考えられますので、繰り返しお尋ねする場合があります。予め御了承ください。

５　第一回目の報告免除

　「５」の欄は、今回の報告の時期の前に完了検査を受け、検査済証の交付を受けた建物の場合に記入します（新築の検査済証交付後、第１回目の報告は免除されます）。この場合、検査済証の交付年月日、合格番号及び交付者（千葉県又は指定確認検査機関名）を記入してください。

※　建築物名称、整理番号は必ず記入をお願いします。